

「コンコード海外交流派遣研修」

(一財) 北海道大沼国際交流協会 高井 雅俊

はじめに

20代はじめ漠然と海外に憧れを抱き全く英語を話す事が出来ないにも関わらず、行けば何とかなるという思いだけでバックパッカーつ背負いオーストラリアへ行き、辛い思いも数多く経験しましたが、それ以上に英語(語学)の素晴らしさ・海外の雰囲気、新しい仲間達との出会いに感動し、次は専門分野を英語で学びたいと思いアメリカに行きました。それが15年前のお話なのでそれ以来ぶりのアメリカでした。

当時ボストンにも留学していたのでコンコード訪問と同じぐらいボストンへ行ける事も楽しみの一つでした。今回の研修では期待と不安もありましたが、留学時代に二度とアメリカに戻って来る機会はないだろうと思い日本に帰国したのをくっきり覚えているので、今回派遣団の一員としてコンコードへ行けた事に感謝し、私自身長年忘れていたことを思い出させてくれる研修になりました。学生時代に過ごしていた時とは違う角度・目線でいろいろな物を見る事が出来、そして再度物事を考える事が出来ました。

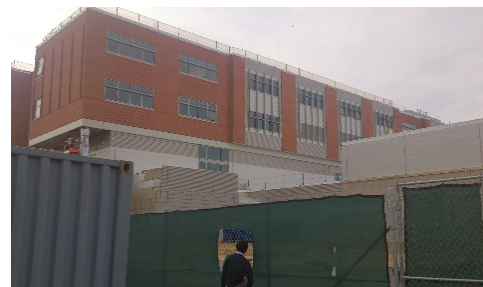
研修報告(コンコード)

コンコードはボストンからハイウェイを使い車で30分ぐらいのとても小さな町ですが、その一方環境、雰囲気は大沼の湖畔沿いに閑静な住宅地があるように感じて、町並み景観いずれも、とても綺麗で素晴らしく統一されています。

行政・教育

コンコードタウンマネジャーを訪問し、コンコードがあるニューイングランド地方では植民地時代から現在までタウンミーティングによる地方自治が行われ住民の大部分が集合して地域の政策や予算を決議しています。それによって行政住民の一体感、意思統一が図れ、町の方向性が出ているのであらうと感じました。

七飯高校と姉妹校を結んでいるコンコードカーライル高校はテレビドラマに出てくるアメリカを感じさせる平屋



来年3月頃完成予定コンコードカーライル高校新校舎

の校舎なのですが、建物の老朽化、耐震性の問題もあり 2015 年 3 月頃新しい校舎が出来上がります。

アメリカの大体の州では 16 歳から車の運転が出来る為、現在の校舎を取り壊した後は生徒用の駐車場や緑の芝生に生まれ変わるそうです。高校で教えている外国語は現在スペイン語、フランス語、中国語の授業があり時代のニーズに合った言葉や文化を教えているそうですが、残念ながら日本語の授業は行われておりませんでした。七飯町との交流を長年務めてこられた代表トム、スーザン・カーティン夫妻もこの事についてとても残念がっておられました。生徒達は日本のアニメ・漫画・コスプレとかといった新日本文化にはとても興味がある様で、生徒達が知っているアニメや漫画のタイトルを私に話をしてきましたが全く分からないタイトルばかりでせつぱく現地高校生と話す機会が 1 分ともたなく終了。現状としてある高校生を持つ母親と話をしたが、毎日大量の宿題が学校から出され、放課後のクラブ活動、週末には習い事、高校生は自宅にいる時は宿題・勉強漬け、親も週末習い事の送り迎え、「Crazy」だと、アメリカという国は一見華やかに感じるが、学生の頃の学業・習い事は日本以上だと感じました。このことからハーバード大学、マサチューセッツ工科大学、ボストン大学の様な世界に名だたる大学が近辺にあり、コンコードには公立私立の小・中・高合わせて 14 校があります、現駐日米国大使キャロライン・ケネディ氏が卒業した全寮制の学校でアメリカ TOP10 に入る私立コンコードアカデミーも町の中心部あり、コンコードの教育水準高さに驚きました。

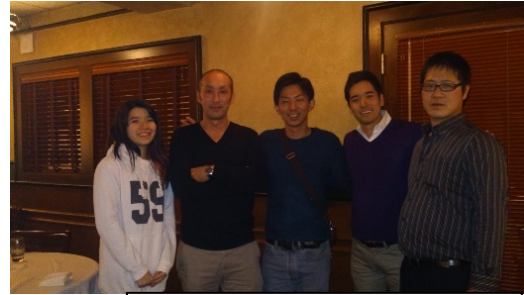
コンコードの歴史

昔から「世界ふしぎ発見」の様な番組が大好きで、アメリカの歴史上もっとも有名な場所であるアメリカ独立戦争の舞台「オールド・ノースブリッジ」、著者ルイーザ・メイ・オルコットが書いた日本では馴染みがある若草物語の執筆された舞台「オーチャードハウス」それらの書物等が大事に保管されている「コンコードミュージアム」歴史をすごく大事にしており、住民がその歴史に誇りに思い生きていると感じました。そして全ての場所に訪れ共通して言えることはガイドさんの説明が上手さ、歴史が好き嫌いはあると思いますが、建物を出た後にこの場所で 2 時間以上話を聞いてたの？と感じたぐらいとても中身の濃い説明で驚き半分、すごく勉強になり帰国後もたまにインターネットでコンコードの歴史を検索してしまいます。

最後に

ハロウィンや紅葉が色づき始めるこの時期にコンコードを含めたくさん

の場所を訪れ、多くの物を見てきました。ボストンでは多少思い出の場所も行けましたが 15 年前と街並みがすっかりと変わり、しかしどれもこれも素晴らしい建物で歴史を感じる場所ばかりでしたが、やはり一番のこの研修の思い出はそこで出会った方々だと感じます。これまで色々な場所へ行きホーム



素晴らしい仲間達

スティもしてきましたが、ここまで素晴らしく一人や二人じゃなく会う方のほとんどみんなが日本並みのおもてなしをしてくれた場所はなかったので、これまで七飯町とコンコードの交流を築き上げて来られた代表トムさん、スーザンさんをはじめ、陽気でいつも冗談ばかり言って仲睦まじい三上さんと私のホストファミリーのジャックとナンシー、駒ヶ岳を愛し版画にした清野先生のホストファミリーのクリスさん、オーバーオールがとても似合う篠田さんのホストファミリーのジョンとしっかりした奥さんホーリー、昨年の夏に七飯町へ国際交流事業で来て現在ボストンカレッジで法律の勉強しているジョシュとの再会、家に



ジュンコさん

招待してくれた七飯町現外国語指導助手マクレーンのご両親と妹さん、そしてこの研修を毎回陰で支えて下さり、コンコードという素晴らしさを数多く教えてくれ、最高のおもてなしをして下さったジュンコさんとその息子で紳士のボビー、名前が出た方以外にもたくさんの方々のおかげで素晴らしい研修になり、無事何事もなく七飯に戻って来ることが出来たと思っています。今回学んだ事を毎年7月に七飯町に来る留学生、これから新たに計画する国際交流に役に立つと感じました。この度私を七飯町海外交流派遣団の一員に選んで下さった方々、こっちにいたら全く出会えなかった年齢・職業は異なる14名の(中学生・高校生の行動力に凄さにびっくりしましたが)このメンバーとも知り合えて本当に素晴らしい研修になったことに感謝します。今年の6月・7月頃コンコードからトムさん方が札幌、七飯に来ると現地で言っていたので、もう一度会えるのを心待ちにしています。そして機会があればもう一度コンコードへ今度は家族を連れ行きたいと心に誓いました。